

保険者努力支援制度(市町村分)都道府県別平均獲得点の分析

<獲得点数>

区分	年度	項目	共通①	共通②	共通③	共通④	共通⑤	共通⑥	固有①	固有②	固有③	固有④	固有⑤	固有⑥	合計	順位	
			(特定健診・保健指導・メタボ)	(がん検診、歯周疾患健診)	(生活習慣病・重症化予防)	(個人インセンティブ)	(重複服薬)	(ジェネリック)	(収納率)	(データヘルス)	(医療費通知)	(地域包括ケア・一体的実施)	(第三者求償)	(適正かつ健全な取組)			
		点数()はR4 (点)	190	75(70)	100(120)	65(60)	50	130	100	25(30)	15(20)	40	50	100	940(960)		
全国	令和5年度	(点)	53.7	39.5	84.0	50.3	42.0	61.8	51.5	22.9	14.8	25.9	40.4	69.3	556.06	↓	—
	令和4年度	(点)	47.7	37.4	107.1	43.1	43.5	69.5	46.3	27.7	19.6	22.4	36.5	67.9	564.91		—
大阪府	令和5年度	(点)	27.7	31.9	80.1	58.3	40.5	15.2	42.9	22.2	15.0	24.7	32.2	74.9	465.47	↑	46
	令和4年度	(点)	29.8	32.1	101.5	40.6	38.6	17.3	34.8	25.3	19.5	19.6	27.2	72.1	458.47		46

<全国平均の伸びに比べ得点率が上がった項目> ↑

項目	評価	今後の取組
共通④ (個人インセンティブ)	健康指標の維持・改善や都市整備部局等との連携によるインセンティブ提供について、アスマイルの新たな取組みを活用することにより、市町村の点数獲得につながったため、17.7ポイントも上昇し、全国平均を上回った。	引き続き、アスマイルの活用を促すとともに、マイナンバーカードの被保険者証利用等に対する周知・啓発を促す。

<全国平均の伸びに比べ得点率が下がった項目> ↓

共通① (特定健診・保健指導・メタボ)	特定健診受診率が全国平均を下回る状況が続いており、関連する指標においてマイナス評価となる市町村数が多いため。	全国平均と比べて低い状況が続いていることから、引き続き、「受診率向上施策ハンドブック」(厚生労働省)等を参考に、対象者に情報をしっかり届けるとともに、医師会等地区組織との連携を進められるよう、助言、支援等に努める。
------------------------	--	---

<全国平均に比べ得点率が高い項目> ▲

固有⑥ (適正かつ健全な取組)	「適切なレセプト点検の実施や一部負担金減免の規定整備及び法定外繰入をしていない」の項目で大多数の市町村が点数を獲得しており、全国平均を上回っている。	保険料(税)収納率向上を図るため、口座振替やクレジットカード払い等の更なる周知に努めて頂くよう、助言、支援に努める。
--------------------	--	--

<全国平均に比べ得点率が低い項目> ▼

共通⑥ (ジェネリック)	政府目標である使用割合80%や前年度からの使用割合3%以上の上昇を達成している市町村が少なく、当該項目の保険者努力支援制度の配点が高いため。	アウトカム指標(後発医薬品の使用割合)への重点化が図られていることを踏まえ、使用割合向上に向けた取組への助言、支援に努める。
-----------------	--	--